

2020年9月期 第1四半期 決算説明会 質疑応答の要旨

2020年2月4日に開催した第1四半期決算説明会(機関投資家・アナリスト・報道関係者向け)における主な質疑応答の要旨は下記の通りとなります。

◆デジタルマーケティング事業について

Q1. 1Qの国内と海外の進捗について

A1. 国内はブランド領域が大手顧客を中心に引き合いが強い一方で、パフォーマンス領域は軟調となった。また前年度の1Qと比べると金融・キャッシュレス系の特需に対する反動減があったが、全体としては顧客構成に大きな変動は起きていない。海外は昨年度のLion & Lion社の構造改革によりコスト面での改善があり、収益はアメリカ、中国の大型顧客を中心とした案件の獲得により前年同期比で堅調に伸びている。

Q2. 電通グループとの協業顧客数の今後の推移について

A2. 顧客数は短期協業と中期協業を合計したもので、中期協業であるオンライン、オフラインの統合提案を中心に伸びている。顧客の開拓余地は大きく、2Q及び下期以降も顧客数が伸びていくと想定している。

◆メディアプラットフォーム事業について

Q3. GANMA!及びその他新規事業の状況について

A3. GANMA!及びその他新規事業ともに収益が伸びている。GANMA!は当初の計画通り進捗し、その他新規事業ではベビフルをはじめとした複数のメディアの規模感が大きくなりつつある。今期はメディアプラットフォーム事業においてGANMA!以外のプロダクトについても積極的な開示を検討している。

以上